慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2023
Jtitle	新版 窮理図解 No.38 (2023. 10) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應理工のヒューマン・ インタフェース : 人間とコンピュータの架け橋 情報工学科 杉浦裕太 (准教授)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000038-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の本棚

My favorite books

●『図解でわかる!理工系のためのよい文章の書き方』

(福地健太郎 文・園山隆輔 図解　翔泳社)

大学に入学すると、すぐに授業や実験で長い文章を書く場面があります。そこで身に付けた能力は、卒業論文に生かされることになります。大学生活で付きまとう文章作成に関して、いいスタートが切れる一冊です。イラストが豊富でわかりやすく、演習課題もあるため、高校生が読んでもためになる内容になっています。

●『The New Media Reader』

(Noah Wardrip-Fruin ら編　The MIT Press)

今日のコンピュータがこんなに便利に使えるようになったのは、巨人たちの発明があったからです。有名な論文がまとめられて一冊になっています。今、当たり前に使われているメディア技術が生まれた瞬間に立ち会いませんか?　論文は英語で執筆されたものですが、平滑な文章で書かれており、学部生でも読みやすく英語の勉強にもなります。

●『Research Methods in Human-computer Interaction』

(Jonathan Lazar ほか 著　Morgan Kaufmann)

ヒューマン・インタフェースの分野は、システムの性能評価だけでは、リサーチクエスチョンに回答できないようなことも多くあります。それは、人間の経験そのものが評価の対象になることがあるからです。そのため評価手法が多様です。その評価手法を網羅的に紹介している一冊。研究室でも、毎年この本を使って輪読をしています。

●サイエンスフィクション(SF)を読むことは、研究のアイデアを生み出すきっかけにもなります。研究室の本棚にも、SFのマンガや文庫本を置いています。今回はそのうちの2冊を紹介します。

『火星の人〔新版〕(上)』

(アンディ・ウィアー著　小野田 和子 訳　早川書房)

極限環境で、科学者が生き残るために知識と工夫を凝らしながら奮闘します。エンジニアリングの手続きの醍醐味に圧倒されるSFです。

『星を継ぐもの』

(ジェイムズ・P・ホーガン 著　池央耿 訳　東京創元社)

月面探査に行ったら、そこには5万年前の宇宙服を着た人間の死体があった。なぜ?　なぞを科学的手法で紐解(ひもと)いていくSFです。「サイエンスって面白い!」って思える本です。

●『自在化身体論 ―超感覚・超身体・変身・分身・合体が織りなす人類の未来』

(稲見昌彦 ほか 著　エヌ・ティー・エス)

これを読むと"私の身体って何なんだろう"という気持ちになります。人間拡張を目指した気鋭の研究者による最新の事例紹介です。

●『妄想する頭 思考する手 想像を超えるアイデアのつくり方』

(暦本純一 編　祥伝社)

もしかしたら「自分なんてアイデアを考えちゃいけないんだ」なんて思っていませんか?　そんな理工系学生や理工系進学希望者にぜひ読んでほしい一冊です。これを読んでアイデアを具現化しましょう。未来を自分の手で創りましょう!